

日本思想史学会 2019 年度大会 プログラム

会 場 茨城大学水戸キャンパス (茨城県水戸市文京 2 丁目-1-1)

◆ 11 月 2 日 (土) 大会第 1 日

シンポジウム「中世から近世へー 16・17 世紀の思想史的課題」(13:00～16:40)

会場：人文社会科学部講義棟 10 番教室

司会：オリオン・クラウタウ (東北大学)

報告者：

前田 雅之 (明星大学)

「中世から近世へー古典注釈の展開を通して 宗祇から契沖へ」

下川 玲子 (愛知学院大学)

「朱子学的理の確立ー 16・17 世紀の思想史的意義ー」

齋藤 公太 (國學院大学)

「16・17 世紀における『神皇正統記』の受容と正統論の形成」

コメンテーター (ディスカッサント)：

兵藤裕己 (学習院大学)

アンナ・アンドレーヴァ (ハイデルベルグ大学)

総 会 (16:50～17:20)

懇親会 (17:30～19:30)

会場：大学会館 (茨苑会館)

◆ 11 月 3 日 (日) 大会第 2 日

研究発表 (10:00～16:30)

会場：人文社会科学部講義棟各教室

※詳細は、本紙裏面の「研究発表一覧」をご覧ください。

《ご案内》

◆発表者各位

* 研究発表における配布資料は、発表者において印刷の上、各自の発表会場へ持参願います。例年 70 部を目安としておりますが、制限はありません。

* パソコンの動作確認を希望する方は、大会第 2 日の 9 時 30 分から 9 時 50 分の間に、各自の発表会場において行ってください。早めの来場をお勧めします。なお、発表時間はパソコンの準備等も含めて 25 分とし、不具合が生じた場合も延長は出来ません。予めご了承ください。

◆参加者各位

* 大会参加費納入済みの方は、受付で要旨集をお受け取り下さい。9 月 30 日までに事前に振り込みをしていない方は、受付で当日参加費 3,000 円を現金にてお支払い下さい。要旨集をお渡します。

* 懇親会費を事前にお支払い頂いていない方で懇親会に出席される方は、受付で懇親会費 5,500 円 (一般)・4,500 円 (学生・非常勤) をお支払い下さい。

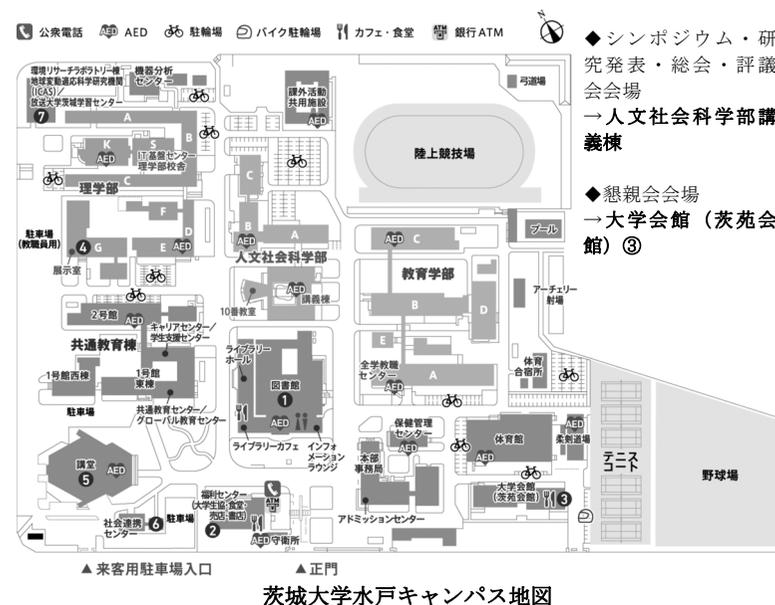
* 第 2 日目昼食の弁当は、事前に申し込まれた方のみにお渡します。当日の申し込みはできかねますのでご容赦下さい。また、キャンセルについてもお受けできませんので、ご注意ください。

◆展示会

11 月 2 日のみですが、図書館本館 1 階展示室で、「菅文庫」のミニ展示を行います。「菅文庫」は幕末・明治を生きた、水戸藩出身の史学者で、旧幕時代は彰考館において『大日本史』編纂に従事し、明治以後には石上神宮大宮司となった菅政友(1824～97)の旧蔵書です。

◆交通アクセス

JR 水戸駅 (北口) バスターミナル 7 番乗り場から茨城交通バス「茨大行 (栄町経由)」で、終点「茨大前営業所」まで。あるいは「渡里ゴルフセンター」「石塚車庫」行き等に乗り、「茨大前」にて下車。乗車時間は 20 分くらい。



◆シンポジウム・研究発表・総会・評議会会場
→人文社会科学部講義棟

◆懇親会会場
→大学会館 (茨苑会館) ③

《ご注意》

* 既納の費用は返却できません。ご了承ください。

* 大学校内は、所定の喫煙所以外は禁煙です。

* 出張依頼書および大会ポスターは、2016 年度より学会ホームページ (<http://ajih.jp/>) からダウンロードすることができます。

【お問い合わせ】

〒310-8512 茨城県水戸市文京 2 丁目-1-1 茨城大学人文社会科学部 (伊藤聡研究室内)
日本思想史学会 2019 年度大会実行委員会 (実行委員長: 伊藤 聡)

E-mail : satoshi@vc.ibaraki.ac.jp

TEL : 029-228-8121

11月3日(日)大会第2日 研究発表一覧(再改訂)

	第一部会 (人文社会科学部講義棟 12 番教室)	第二部会 (人文社会科学部講義棟 27 番教室)	第三部会 (人文社会科学部講義棟 24 番教室)
10:00	『永平清規』と『誠初心学人文』の比較—道元禪師と知訥禪師の「清規」から 丁 濟嶼 (東北大学・院)	供養と顕彰の思想—松本藩領貞享百姓一揆の記録を追って— 中村 安宏 (岩手大学)	明治思想史テキストとしての—高『校友会雑誌』:「元気」論に立脚して 高原 智史 (東京大学・院)
10:40	生身の地蔵霊地の変貌 林 京子 (高勝寺プロジェクト推進員)	幕末維新时期における儒学思想と池田草庵 古 文英 (立命館大学・院)	明治中期のナショナリズムと法学—牧野英一の思想形成— 猪原 透 (立命館大学・非)
11:20	貝原益軒の音楽思想とその特質—雅楽認識における熊沢蕃山との比較をとおして 中川 優子 (東京学芸大学・院)	自己像/他者像としての菅野八郎 —くまざし)とイメージの主体形成論— 青野 誠 (一橋大学・院)	煩悶青年から中国研究家へ—橘樸の初期思想形成と日中の交錯する思想空間 谷 雪妮 (京都大学・院)
12:00	昼 食		
13:30	山鹿素行の「仕置」政治論—朱子学「治人」論批判の意義— 前田 勉 (愛知教育大学)	福沢の弟子にして新聞人・実業家・外交官・政治家、波多野承五郎 平山 洋 (静岡県立大学)	大正期「日本主義」の検討—三井甲之と岩野泡鳴の提携から— 横川 翔 (筑波大学・院)
14:50	『中臣祓詞蒙訓』からみる吉見幸和の神事観と学問 城所 喬男 (東北大学・院)	加藤咄堂と品性修養—禅による感化 山口 陽子 (東北大学・院)	三上参次の歴史意識(承前) 池田 智文 (ノートルダム女学院 中学高等学校教諭・ 龍谷大学(非))
15:10	休 憩		
15:50	懐徳堂学派の「敬」論—五井蘭洲と中井竹山を中心に— 佐藤 由隆 (大阪大学・院)	中国仏教史の創出—境野黄洋の支那論に関する—考察 呉 佩遙 (東北大学・院)	猪俣津南雄の中国革命認識—その帝国主義論・日本資本主義論との関わりに即して 黒川 伊織 (神戸大学)
16:30	本居宣長『直毘靈』解釈—「物に行く道」の到達— 吉川 宜時 (横浜市立大学共同研究員)		和辻哲郎の武士道論とその思想史的位置づけ—批判的再検討の視点から— 李 璐 (筑波大学・院)

※所属の後の「院」は大学院生であることを示す。

人文社会科学部講義棟 11 番教室 会員休憩室
人文社会科学部講義棟 26 番教室 書籍販売所